

「広島神楽」定期公演へようこそ!

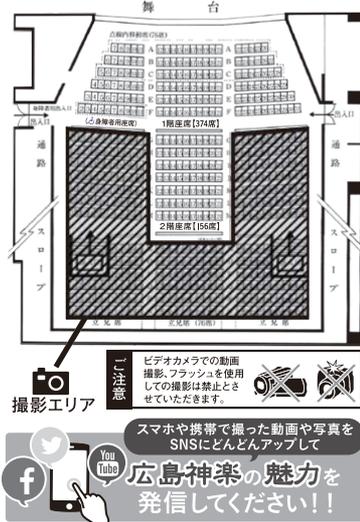
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアでお願いいたします。



4月20日のタイムスケジュール

出演：綾西神楽團（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『紅葉狩』

（およそ40分）

～幕間（休憩）～

20:00～第二幕『葛城山』

（およそ40分）

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。（舞台へは靴を脱いでお上がください。）
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あやにしかぐらだん

綾西神楽團プロフィール ～広島市安佐北区～

綾西神楽團は昭和56年、地元の若者十数名により「綾西神楽同好会」として発足しました。

結成時、神楽経験者は誰もいない、衣装も道具もない状態でしたが、地元住民の厚意で寄付を頂き、中古衣装、道具一式などを揃えていただくとともに、当時、神楽団を結成し活動されていた二名を指導者に招き、スタートしました。

その後、地区の高校生が集まり、団員も増え名称を「綾西神楽團」と改め、「神楽を楽しみ、見る人に感動を与える神楽団」を目指し、活動を続けております。

新・旧両舞に独自の演出を加え、各地の神社例祭、各種イベント、老健施設などに慰問し活動しています。

練習は週3日、自分たちの神楽確立のため、日々精進しています。

第一幕『紅葉狩』（もみじがり）

平安時代の中頃、武勇の誉れ高い信濃の守・中納言平維茂（たいらのこれもち）は、「信州・戸隠山に棲み、世の中に災いを及ぼしている『鬼女』を退治せよ」との勅命を受けます。

維茂主従は、戸隠の険しい道を登りますが季節は秋、艶やかに色づいた紅葉は陽を受けて燃えさかる炎のように美しい景色の中で、姫に化身した鬼女が「紅葉狩の宴（うたげ）」を開いていました。主従は誘われるまま宴の客となり、酔い伏してしまいます。

麗しき姫は、正体を現し取り食らおうとしますが、その時維茂が日頃より信心する八幡大菩薩の使神竹内ノ神が現れ鬼女を追い払い『神剣』を授けます。正気を取り戻した主従は、鬼女との戦いに挑み、退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 若林 佑紀	平 維 茂 … 玉城 啓一	鬼女大王 … 若林 弘志
	小太鼓 … 若林 洋子	竹内ノ神 … 油目 高	鬼 女 … 佐々木 康介
	手打鉦 … 上田 楓人		鬼 女 … 松村 厚志
	笛 … 佐々木 もも子		

第二幕『葛城山』（かつらぎざん）

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱（かくらん）しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光（みなもとのらいこう）へ忍び寄ります。

時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶（こちょう）が典薬（てんやく）の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりすますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。

しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸（ひざまる）」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸（くもきりまる）」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 尾崎 雄也	源 頼 光 … 松村 厚志	胡 蝶 … 若林 弘志
	小太鼓 … 若林 洋子	卜部六郎季武 … 佐々木 康介	土蜘蛛の精魂 … 若林 佑紀
	手打鉦 … 上田 楓人	坂田金時 … 玉城 啓一	
	笛 … 佐々木 もも子		